



令和2年度 秋田県総合教育センター

総合教育センターだより

第177号

令和2年9月1日発行

〒010-0101 瀧上市天王字追分西29-76

TEL 018-873-7200 (代表)

<https://www.akita-c.ed.jp>

新型コロナウイルス感染症予防対策について

今年度は、受講者の皆様に当センターの新型コロナウイルス感染症予防対策にご理解・ご協力いただきながら研修講座を行っています。今後も研修内容等を変更せざるを得ない状況が生じる可能性があります。詳細は、順次当センターウェブサイトでお知らせしていきますので、ご確認ください。

また、研修講座受講者には受付時に「新型コロナウイルス感染症対策に関する健康チェックシート」の提出をお願いしています。当センターウェブサイトからダウンロードして記入の上、ご持参ください。

秋田県総合教育センター

・新型コロナウイルス感染症対策に関する協力等について

研修講座の受講者は、来所前に必ずこちらをご確認の上、ご協力願います。
「研修講座を行う際の配慮事項」を変更しましたのでご確認ください。

・新型コロナウイルス感染症対策に係る研修講座の変更について(8,9月分)

「9月の研修講座の変更点について」「8月の研修講座の変更点について」
のとおり実施することになりました。

※新型コロナウイルス感染症対策に係る研修講座の変更の情報はこちら (全体表示)

新型コロナウイルス感染症対策に関する健康チェックシート

学校名	氏名
-----	----

1 当日の朝、体調のセルフチェックを必ず行ってください。
チェック項目に該当した場合は、研修を受けることができませんので、速やかに所属長に報告してください。

本日、以下の症状はありますか。	当てはまる方に○で囲む	
・発熱(朝)	あり(.)℃	なし(.)℃
・風邪の症状	あり	なし
・強いだるさ(倦怠感)	あり	なし
・息苦しさ(呼吸困難)	あり	なし

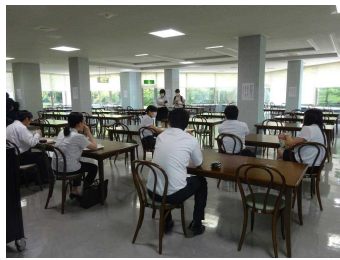
2 新型コロナウイルス感染防止のため、以下の物を持参してください。

- ハンカチ、ティッシュ等
- マスク(色、柄は問わない)

3 参加の際には、受付時に提出してください。

◎食堂を利用する際のお願い

感染症予防のため席数を減らしています。食堂利用の際は会話の自粛、距離をとっての着席、手指消毒の徹底をお願いいたします。



< 感染症予防対策を講じた研修の様子 >



6月17日
初任者研修講座(高等学校)Ⅲ



7月15日
初任者研修講座(中学校)Ⅲ



8月4日
初任者研修講座(小学校A)Ⅳb

<発表の際には距離をとっています> <協議ではフィルムで飛沫を防いでいます> <座席の間隔を広くしています>

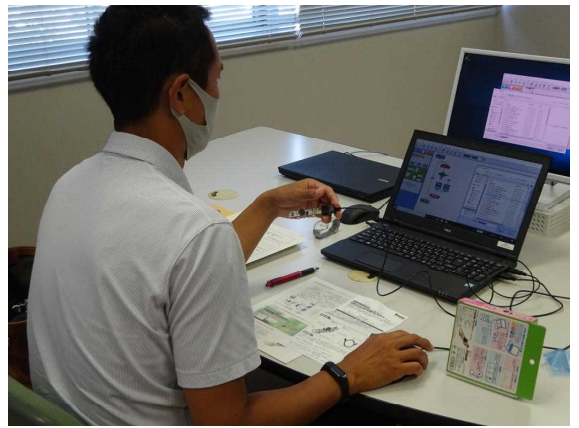
公開講演について

9月15日(火)に開催予定の秋田大学教授 林 良雄氏による公開講演「ICTを活用した教育とIoTを組み込んだ教育の実際」は、定員に達したため聴講申込みを締め切らせていただきました。



● 高等学校新科目「情報Ⅰ」のプログラミングについて

令和4年度から実施される高等学校新科目「情報Ⅰ」のプログラミングについての基本的な理解を深めるとともに、実践的な知識と技術を身に付けることを目標としたC講座「高等学校情報科におけるプログラミング」が8月3日と19日に同内容で行われました。小・中学校におけるプログラミング教育と高等学校情報Ⅰの要点や情報Ⅰで用いるプログラム言語、情報Ⅰにおけるプログラミングについての講義・演習では、実際に学習教材を操作し理解を深めました。

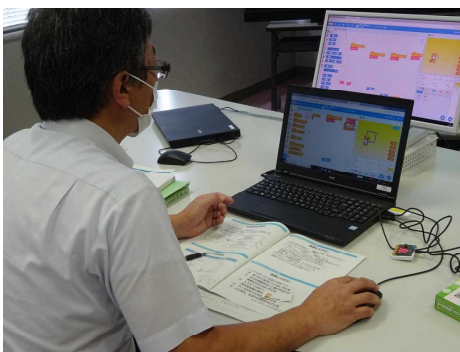


研修の振り返り票より

- ・学習指導要領の改訂に伴うプログラミングに関する内容の変化を理解した。本校では「社会と情報」でコンピュータの仕組みを中心に指導しているが、プログラミングにはあまり触れていないため、今から準備したい。
- ・令和6年度より小学校でプログラミングを学習してきた生徒が入学してくるため、更なる教材研究が必要であると改めて感じた。
- ・新しい「情報Ⅰ」が令和6年度以降本格的な実施と聞いて、特別支援においても内容について考えていかなければならないと感じた。プログラムを組むことは難しくても、携帯アプリやゲームがそのシステムであることなどは伝えられそうだと感じた。

● 小学校プログラミング教育について

小学校でスタートしたプログラミング教育についての理解を深めるとともに、その実践的な知識と技術を身に付けることを目標としたC講座「論理的思考力を育む小学校プログラミング教育」が8月21日に行われました。教科等における小学校プログラミング教育の進め方の研修では、総合的な学習の時間、算数、理科で実際に活用できる学習活動例が紹介され、受講者は授業での実践をイメージしながら取り組んでいました。



研修の振り返り票より

- ・総合的な学習の時間では、自分たちの生活や生き方と関連付け、気付かせたり考えたりするためのプログラミング体験になるよう、4つのプロセスに位置付けるということが理解できた。
- ・算数では、学年別に作られたプログラムに触れ、どの場面で子どもたちに学習させようかと、とてもワクワクした内容だった。データを活用させていただき、2学期の実践に役立てたい。
- ・理科では、パワーポイントもプログラミング学習に使えることがとても参考になった。フローチャートを3年生ぐらいから用いることができることを聞き、是非使ってみたいと思った。